

## V. 施設の利用方法

### [1] 施設利用についてのお願い

- 節電・節水にご協力ください。沢から水を汲み上げているため、使いすぎると水が出なくなる可能性があります。
- みんなで使う施設です。清掃・整理整頓を行い、次の人が気持ちよく使えるようにしましょう。
- 建物や備品を汚損・破損・紛失した場合には、速やかに事務室までご連絡ください。故意または不注意による場合には、実費弁償していただく場合があります。
- 貴重品の管理は各団体で責任を持ってお願いします。事務室及び各宿泊棟入口に、リターン式コインロッカーを設置しています。

### [2] 宿泊室の利用

#### ① 各棟の宿泊人数

棟名	宿泊室	リーダー室	やすらぎの部屋	最大宿泊人数
 さかな	6人部屋 8室	4人部屋 2室	令和5年10月より 「やすらぎの部屋」には 寝具を配置していません。 団体に割り当てられた 他の宿泊室から 寝具を移動して 利用することは可能です。	56
 きのこ	8人部屋 6室	// 3室		60
 はな	// 6室	// 1室		52
 むし	// 6室	// 2室		56
 とり	// 6室	// 1室		52
 そら	// 8室	6人部屋 1室		70
 もり	// 6室	4人部屋 1室		52
 ほし	// 6室	// 1室		52

- 害虫発生の原因になるため、宿泊室での飲食はご遠慮ください(お茶・水等の水分補給は可)。
- さかな棟はバリアフリー棟です。
- 各棟・各部屋の鍵を貸し出しできます。
- 各棟のリーダー室に冷蔵庫を配置しています。薬や氷、水分補給用の飲み物の保管にご活用ください。
- 持参のドライヤーをお使いになる時は、各宿泊棟 2 台、掃除機は各階 2 台まででお願いします。
- 宿泊室の配置や名称は、HP の「資料ダウンロード」にある【宿泊棟別(部屋別)記入表】にてご覧いただけます。

#### ② 清掃の方法

【宿泊室・廊下・階段】 ※令和6年度より、利用団体によるトイレ・洗面所の清掃は必要ありません。

- 掃除機やほうきで清掃してください。清掃用具が足りない場合は、ご持参のぞうきんで掃除をしてください。
- ベッドの下のゴミやほこり、忘れものの確認をお願いします。
- 掃除機のゴミパックは職員が交換しますので、取り出さないでください。
- 宿泊室内にゴミ箱はございません。各団体でごみの処理をお願いいたします。
- 清掃後は換気のために窓を開けておいてください。

【動画】宿泊棟清掃と退所点検のチェックポイント



### [3] 寝具の利用

#### ① シーツ

- 衛生管理のため、**必ずお使いください**。同じシーツを連続して使用するのは3泊までとし、4泊以上の場合シーツ交換が必要になります。
- リネン室に団体毎に分けて用意します。各自お取りください。
- シーツとシーツのあいだに入って、身体が寝具に触れない状態で休めます。

#### ② ベッドメイキング

- シーツを敷く
- シーツの上にもう1枚シーツを敷く
- 毛布・掛け布団をのせる
- 上側のシーツの首もとを折り返す
- 枕を枕カバーに入れる ※当所の枕には、そば殻は使用していません。



- 上から
- ①掛け布団
  - ②毛布
  - ③シーツ
  - ④シーツ
  - ⑤ベッドパッド
  - ⑥マットレス
- ここに入ります

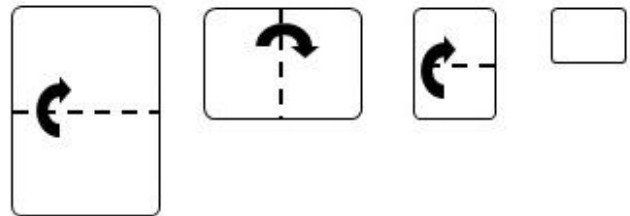
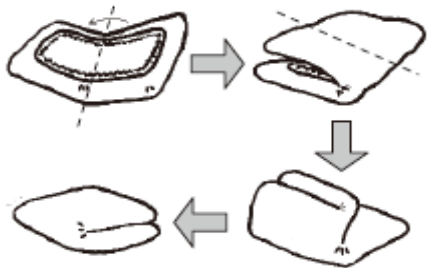
#### ③ 寝具の片付け

##### 【シーツ・枕カバー】

リネン室にある回収袋に返却してください。**シーツをたたむ必要はありません**。回収袋がいっぱいになったら、口を縛り、新しい袋をセットしてください。

##### 【掛け布団・毛布】

掛け布団は2回、毛布は3回長い方をたたみます。



たたんだ寝具は、次の人が使いやすいように、それぞれ折り目が手前から見えるように置きます。

宿泊室内の説明も参考にしてください。

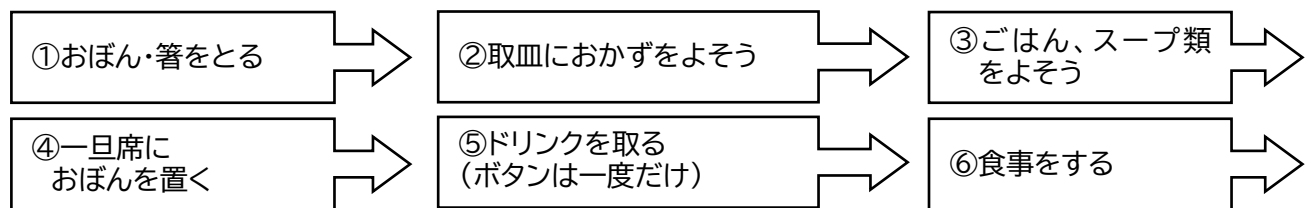
【動画】寝具・リネンの使用 & 整頓方法について



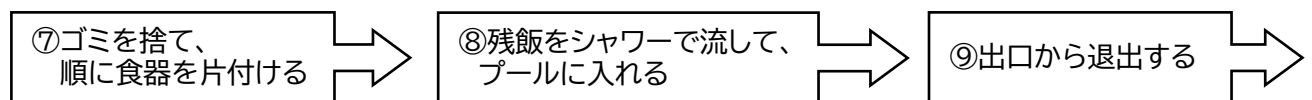
#### [4] レストラン曾爾高原の利用

- 入り口で手洗いをお願いします。手を拭くためのハンカチやタオルを各自ご持参ください。
- 食事の提供はセルフ形式です。食育を考慮しバランスよく食べましょう。なお、人数が 100 名以下は 1 レーン、30 人以下はカウンター、10 人以下の場合は盛付で提供します。
- 各自で料理をお取りいただくか、引率者等で取り分け担当を決めて盛り付けてください。食べきれぬ量を盛るようにしてください。
- 利用時間は活動や利用人数に応じて自然の家が調整します。1 団体につき 30 分～45 分程度です。**順次、テーブル毎に食べ始めるようにお願いします。**全員揃ってから食事を開始すると時間がかかり、次に利用する団体が入れなくなります。

#### <食事配膳の流れ> (右図参照)



#### <片付け方法>



#### <注意>

- 荷物は持ち込まないようお願いします。
- すべりやすいので、食堂内は走らないようにしましょう。
- 座席は前方から順にお座りください。
- 混雑防止のため、食後の打合せや連絡等を行わないでください。
- **大きな声での会話・事務連絡等は、お控えください。**
- **食べ終わったテーブルから、ごちそうさまをして片付けてください。**

【動画】レストランのご利用方法



#### <給茶コーナーの利用について>

- 熱いお茶の提供です。給茶を希望される場合は、事前に食堂スタッフにお知らせください。
- 衛生管理のため、設置のやかんは食堂外へ持ち出さないでください。持出用のやかんは事務室にあります。
- 引率者が補充する場合は、入口で水筒をまとめ、子どもたちの食事中に補充してください。食堂出口奥の机で受け渡しをしてください。



スムーズな食堂の利用にご協力をお願いいたします。



## レストラン曾爾高原の見取図



## 【5】浴室の利用

大浴室は男・女それぞれ一度に60名が利用できます。(シャワー数各10、カラン数各7)

- ❑ **原則、団体ごとに時間を割り振ります。**利用時間は活動や利用人数に応じて自然の家が調整します。
- ❑ 夏期(3月～11月)のみ、指導者の方向けに21:30から23:00まで大浴室を開錠します。シャワーのご利用が可能です。日曜日は浴室消毒のため、小浴室のシャワーを使用いただきます。
- ❑ 特別な事情により大浴室が利用できない場合は、小浴室が利用できます(事前打ち合わせでお知らせください)。
- ❑ 利用当日の宿泊人数が50人以下の場合、男女どちらか片方の大浴室を交代で使用いただきます。宿泊人数が10人以下の場合、小浴室での入浴となります。
- ❑ 洗面用具・タオル・ドライヤー等は置いていません。各自でご用意ください。
- ❑ **※令和6年度より、ボディソープ・シャンプーを設置しています。**
- ❑ 濡れてすべりやすいので、転倒に十分注意してください。
- ❑ マナーを守って入浴しましょう。

【動画】お風呂のご利用について



- ・かかり湯をして体を洗ってから浴槽に入る
- ・タオルを浴槽のお湯につけない
- ・使った洗い桶・椅子は整理整頓する
- ・足、身体をよくふいてから脱衣室へ出る



## [6] ゴミの処理

ゴミは原則持ち帰りです。持参した弁当箱など、自然の家でゴミを捨てたい場合は、必ず売店で曾爾村指定のゴミ袋を購入してください。捨てる際は、ペットボトルをつぶす等出来るだけ小さくしてください。SDGsの観点から、ゴミはできる限り減らしましょう。

ゴミの種類	袋・容器	回収場所
燃えるゴミ (紙くず・プラスチック・トイレの汚物・弁当の空き箱・残飯・ペットボトルなど)	燃えるゴミ用の袋	燃えるゴミ倉庫
ビン	ビン用ゴミ袋	ビン・缶ゴミ倉庫
缶	缶用ゴミ袋	
段ボール		持込：お持ち帰りください 食堂から受け取ったもの： 食堂に返却してください。

## [7] 活動場所の利用

- 各研修室の鍵の貸し出しは事務室までお声がけください。
- 退室時は、清掃・消灯してください。

### 【くろそ】

- 入室時に上履きを脱いでください。

### 【エコロジーホール・クラフトホール・なかよしホール】

- ホール内は上履きで活動してください。クラフトホール・なかよしホールへは、上履きを持参してください。
- 施錠してありますので、事前に事務室で鍵を受け取り、開錠してください。退室時は、施錠し、鍵を事務室に返却してください。

### 【野外炊飯場・屋根付野外炊飯場】

- 指導者は、入所後、事前に使い方の説明を受け、準備・片付けの方法と貸し出し物品を確認してください。

### 【キャンプファイアー場】

- 各広場に設置されているファイアー台の上、または耐火レンガの上で燃やしてください。
- 薪はすべて燃やしきってください。残炭は、各ファイアー場の残炭入れに集めて入れてください。
- ファイアー台や耐火レンガが割れてしまいますので、水をかけないでください。
- 消火用バケツ、ほうき、ちりとり等は利用者玄関横の清掃用具ロッカーの物をお使いください。
- 清掃は翌朝でもかまいませんが、午前の活動の前(9:00前)までに済ませてください。

(つどいの広場の清掃は、朝のつどいの前(7:00前)までに済ませてください。)

【動画】キャンプファイアー場の利用について



## 【キャンプ場】

- キャンプ場の利用については、利用団体の自主的な運営を基本としていますので、生活時間や活動内容は団体ごとに決めてください。
- 職員と事前打ち合わせを行なってください。また、キャンプ場施設(水場・かまど・テントサイト・トイレの場所など)の事前調査、実地踏査を行なってください。
- テント・寝袋・炊事道具など毎日使用するものは、滞在中は団体で管理し、退所日に返却してください。
- 施設の全面禁煙は、キャンプ場も含まれます。ご理解ください。
- 貴重品は団体で保管してください。事務室や管理棟のリターン式コインロッカーをご利用いただけます。
- 大浴室の利用も可能です。他団体との利用時間を調整します。

### ① テント・寝袋の使用について

- 「来た時よりも美しく」を心がけ、万一破損した場合は速やかにご連絡ください。
- テントの周りに溝を掘らないでください。



#### 常設テント(8人用 8張)

- ・テント内は土足・火気厳禁です。
- ・晴天時は入口や窓をあけ、換気してください。

#### 退所時

- ・ほうきで掃除をしてください。
- ・晴天時は居室入口と窓を開けておいてください。

#### 寝袋の貸出

ご希望の場合は、人数分の貸出が可能です。

- ・雨に濡らさないよう注意してください。
- ・寝袋用シーツ(筒形)を使用してください。本館リネン室に用意します。退所日にご返却ください。

#### 貸出用テント

(5人用 5張、6人用 10張、7人用 5張)

#### 設営時

- ・必要に応じて、管理棟下の「すのこ」をお使いください。
- ・ペグやハンマーなどの紛失にご留意ください。

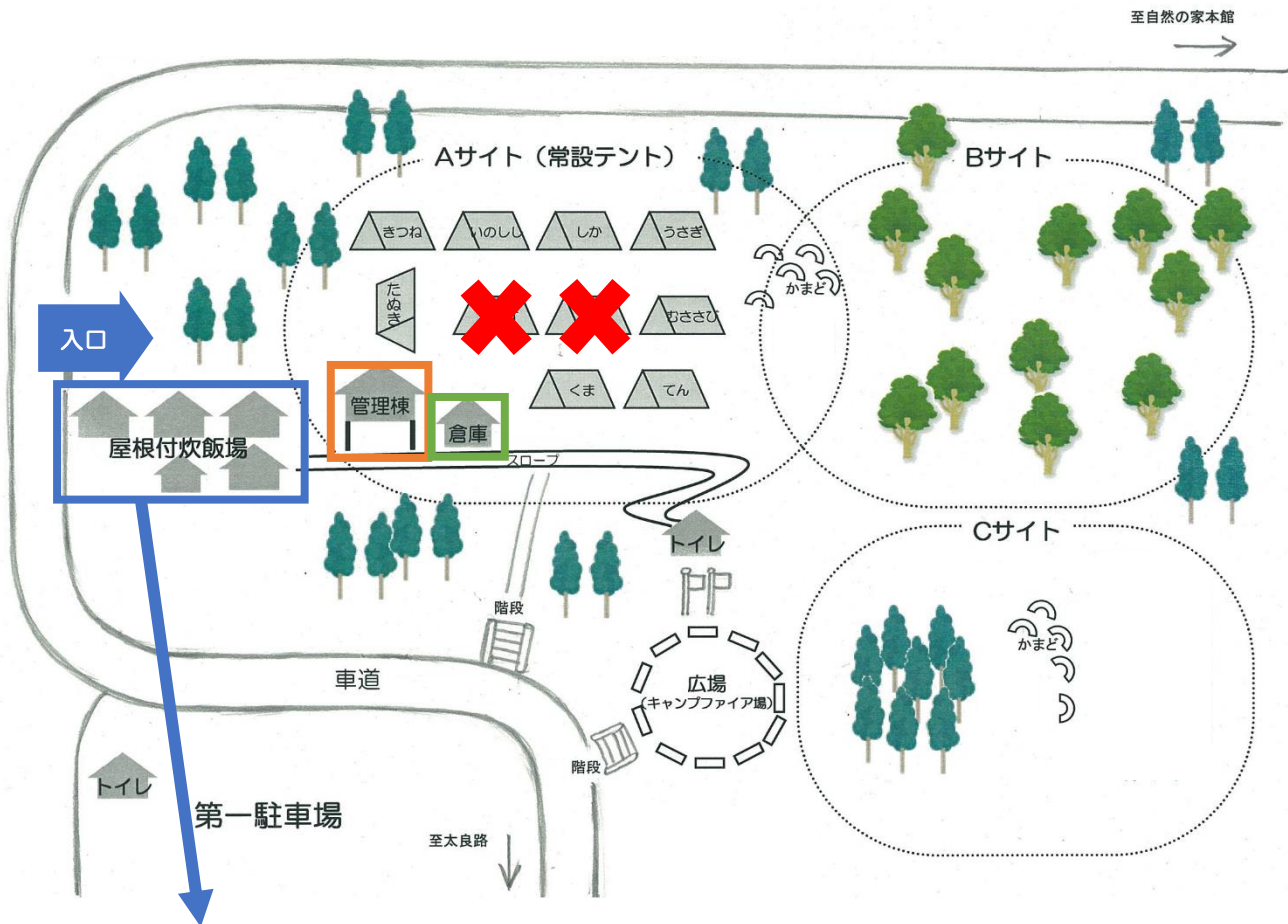
#### 撤営時

- ・テント本体・ペグは汚れを落としてください。
- ・撤収前に裏返しておくなどして、できる限り乾かしてからたたんでください。
- ・用具の数量確認を行ない、職員の点検を受けてから返却してください。
- ・退所日が雨の場合は、テントの片づけ方について職員の指示に従ってください。

### ② 炊事について

- 晴雨にかかわらず原則として自炊です。また、食中毒防止のため**食材の持ち込みはご遠慮ください**。
- 野外炊事の食材は所定の場所で受け取ってください。受け取り時間について、当日受付後に食堂と相談してください。朝食:6時30分、昼食:9時30分、夕食:14時には用意ができます。
- **キャンプ場倉庫**内に冷蔵庫(容量 200L)が2台あります。その他必要に応じてクーラーボックスや氷を準備し、食材は団体で責任をもって保管をお願いします。
- 炊事は必ず所定のかまどで行なってください。かまど付近には消火用の水を必ず配置してください。
- かまどやファイアーマン以外は**火気厳禁**です。なお、花火は禁止しております。
- 食器用洗剤・磨き粉はキャンプ場で用意しています。
- 薪は**キャンプ場管理棟**下にあります。使った分の針金を保管していただき、売店にて清算してください。なお、持ち込みも可能です。

国立曽爾青少年自然の家 キャンプ場配置図



<屋根付野外炊飯場>

